

Agile Project Management

アジャイル開発のおすすめ



Agile One
by AINET

Scrum

アジャイル開発とリーダーシップ

AINET Inc.
Advanced Information NETWORK

PM Project
Registered Management
Education Institute
Provider

アジャイルの背景 (why Agile ?)



ウォーターホール型開発の失敗に学ぶ

コストオーバー・スケジュール遅延

システム開発属性の変化

開発仕様の不確定要素

開発過程の予知 困難

良質開発要員の不足

リーダーシップ・スキル

専門組織体におけるアジャイルへの関心

システム開発に
関わる
ステークホルダーの
意識改革

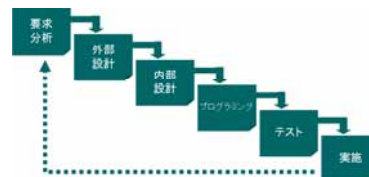


NORTH AMERICA
PMI® GLOBAL CONGRESS 2010

アジャイルのパラダイムシフト



	ウォーターフォール開発	アジャイル開発
成功の指標	計画に合致	変化に対応 正常に動くコード
文化の管理	命令と管理	リーダーシップ コラボレーション
要求と設計	前もって、大きく	継続的、創発的 ジャストインタイム
コーディングと実装	すべての機能を並行に コーディングし、後でテスト	コーディングと単体テスト 連続的にリリース
テストと品質保証	大きく、計画主体、 最後にテスト	継続的、並行的、 早期にテスト
計画とスケジュール管理	PERT、詳細、スコープを 固定、時間とリソース見積る	2レベル計画、「リリース日 を固定、スコープを見積る



アジャイルのパラダイムシフト



文化の管理

ウォーターフォール開発

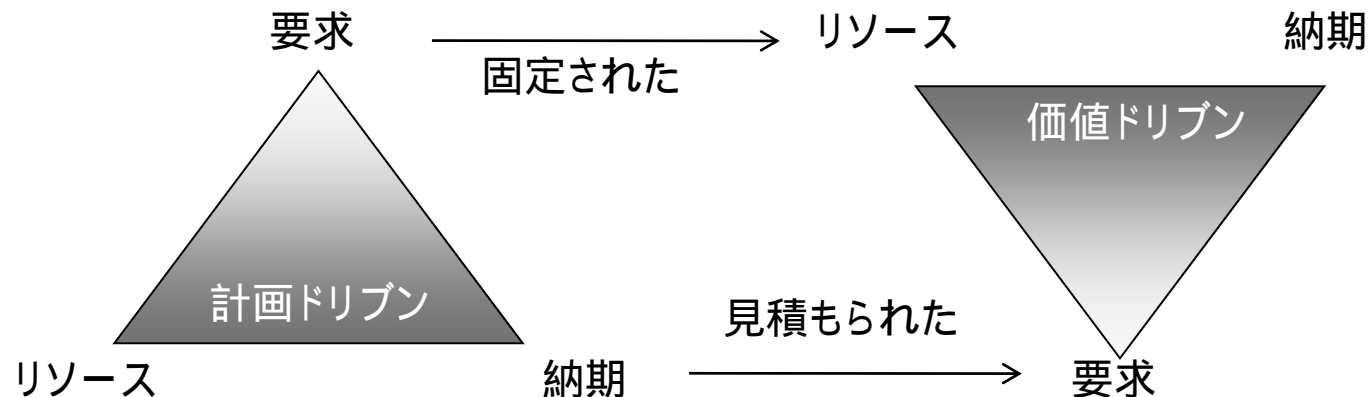
アジャイル開発

命令と管理

リーダーシップ コラボレーション

- ・マネジメントが納期とスコープを定義
- ・マネジメントが実装を指示
- ・承認の文化
- ・スコープを死守
- ・最後にデモする
- ・週次進捗会議

- ・チームはストーリーを作る
- ・チームがやり方を決める
- ・ノウハウを共有する
- ・納期を守る
- ・常にデモする
- ・デイリースタンドアップミーティング



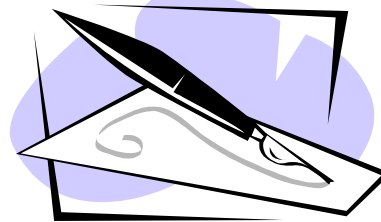
アジャイルマニフェスト



私たちは、ソフトウェア開発の実践
あるいは実践を手助けをする活動を通じて、
よりよい開発方法を見つけだそうとしている。
この活動を通して、私たちは以下の価値に至った。

プロセスやツールよりも **個人と対話を。** (リーダーシップ)
包括的なドキュメントよりも **動くソフトウェアを。**
契約交渉よりも **顧客との協調を。** (リーダーシップ)
計画に従うことよりも **変化への対応を。** (リーダーシップ)

Manifesto



参考 <http://www.agilemanifesto.org/>

アジャイルマニフェスト 原則



1 . 顧客満足優先

2 . 変化への対応 (leadership)

3 . 短期のリリース

4 . 全員開発 (leadership)

5 . モチベーションと信頼 (leadership)

6 . 会話 (leadership)

7 . 動くソフトウェア

8 . 持続可能な開発

9 . 永続的な保守

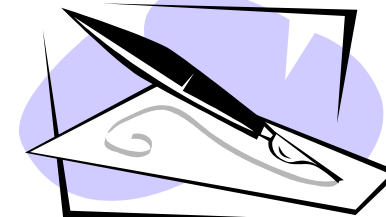
10 . 技術力

11 . シンプル

12 . チームの自律性 (leadership)

13 . 振り返りと改善 (leadership)

Principle



アジャイル適用の効果



生産性の向上



コスト削減



品質向上



顧客満足度向上



タイムツーマーケット向上



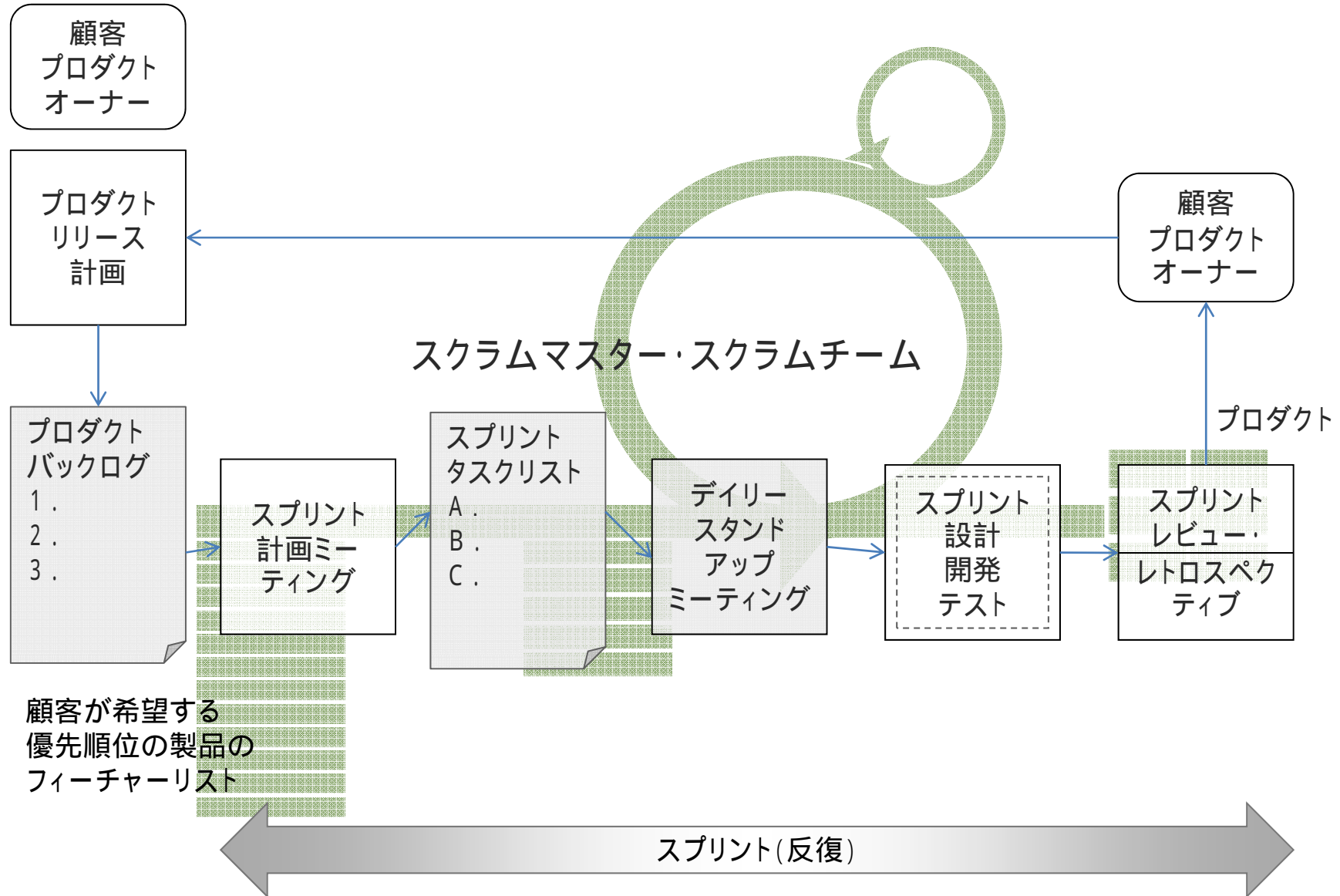
チームの士気と満足度向上



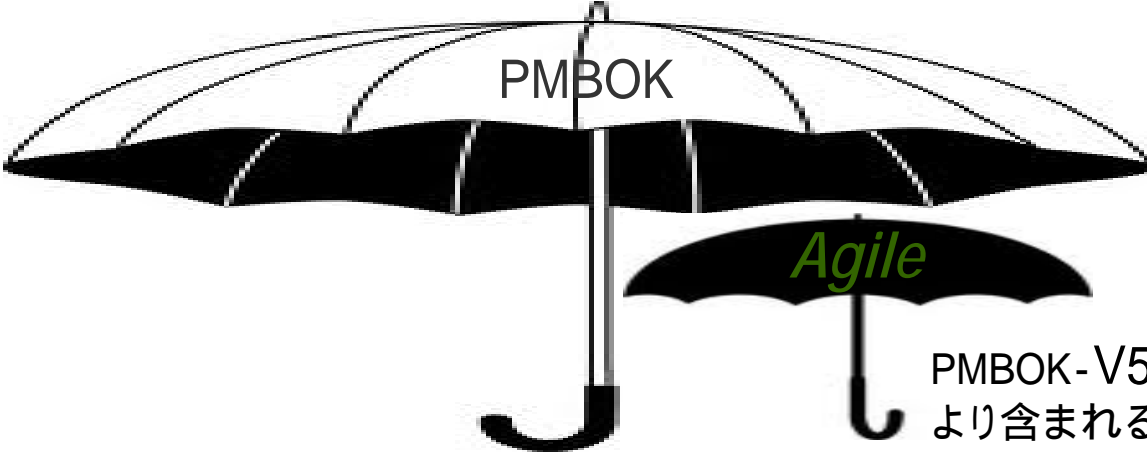
Advantage



アジャイルプロセスモデル

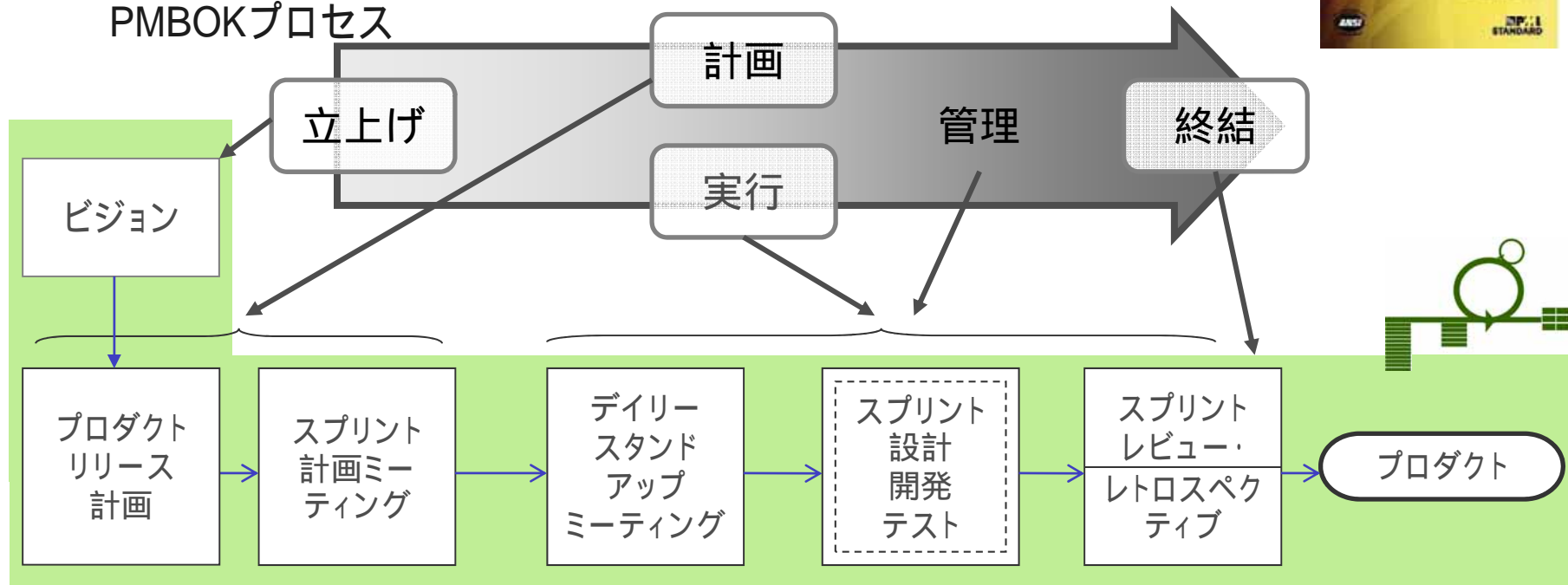
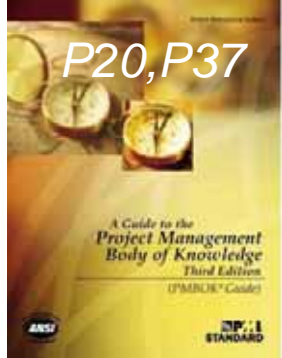


PMBOK と Agile



PMIではPMI Agile Community of Practiceの立上(2009年8月)

PMBOK-V5 (Agileの内容がより含まれる予定)





・コラボレーション型リーダーシップ

命令管理型でなく、リーダーがチームのメンバーを支援することによって、チームの潜在的な力を発揮させるメンバーを正しい方向に導く。すなわちメンバーの話をよく聞き、視点を変えて新しい気づきを促して成長を支援して導くものです。

・効果的なファシリテーション

参加者全員からうまく意見を引き出し、対立する意見を折り合わせたり、視点を変えたりしながら議論を深め、合意形成に持ち込む。
一方的に教えるのではなく、対話を通じて相手を刺激し、相手が自分で答えを見つけ出すように導く。

・アジャイル、スクラム、XPプロセス

アジャイル、スクラム、XPのプロセスのプロジェクトに適用する技法を理解する

アジャイルに必要なリーダーシップ



感情の知性 (EQ)

コミュニケーション

共同作業とチームワーク

ビジョン

ファシリテーション

他者の成長

コンフリクトマネジメント

柔軟性



Agile Leadership

アジャイルのリーダーシップスタイル



	指示管理型リーダーシップ	コラボレーション型リーダーシップ
モチベーション	大きな権力を持ちたい	他者に役立ちたい
マインドセット	競争を勝ち抜き自分が賞賛される	協調とWIN / WINを重視
影響力	自分の権力行使して畏怖させて動かす。	信頼関係を築き、自律性を重視、説得して動かす。
コミュニケーションスタイル	他者に対して命令、指示することを重視	他者の話を傾聴することを重視。双方向
業務遂行能力	自分自身の能力向上で得られた自信をベースに他者に指示する	他者の育成、共に学習することにより能力向上
成長についての考え方	社内ポリティクスを理解し活用することで自分の地位を上げ、成長していく	他者のやる気を大切に考え、個人と組織の成長の調和を考える
責任についての考え方	責任とは、失敗したときにその人を罰するためにある	責任を明確にすることで、失敗からも学ぶ

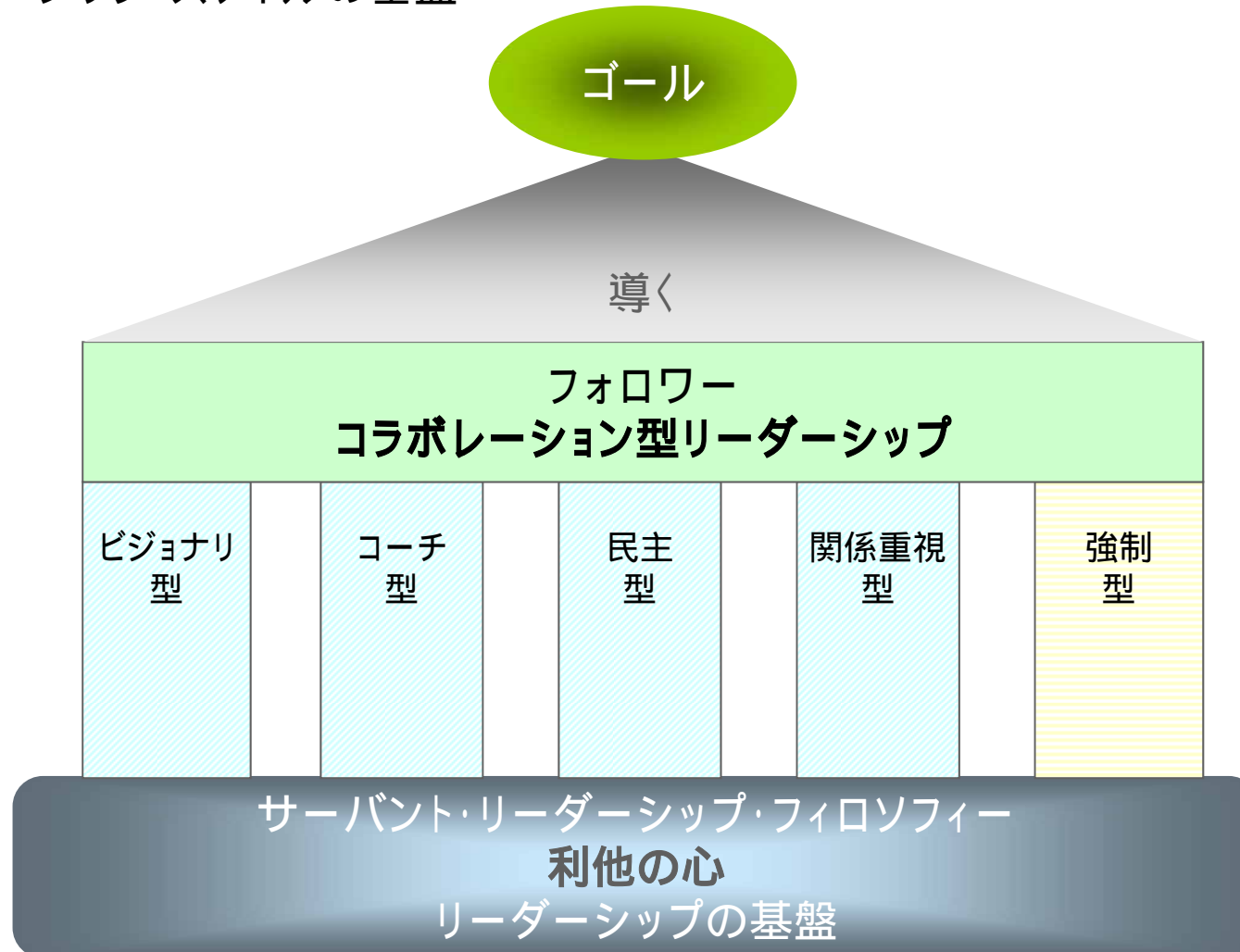
↓

サーバント・リーダーシップという考え方

サーバント・リーダーシップとは



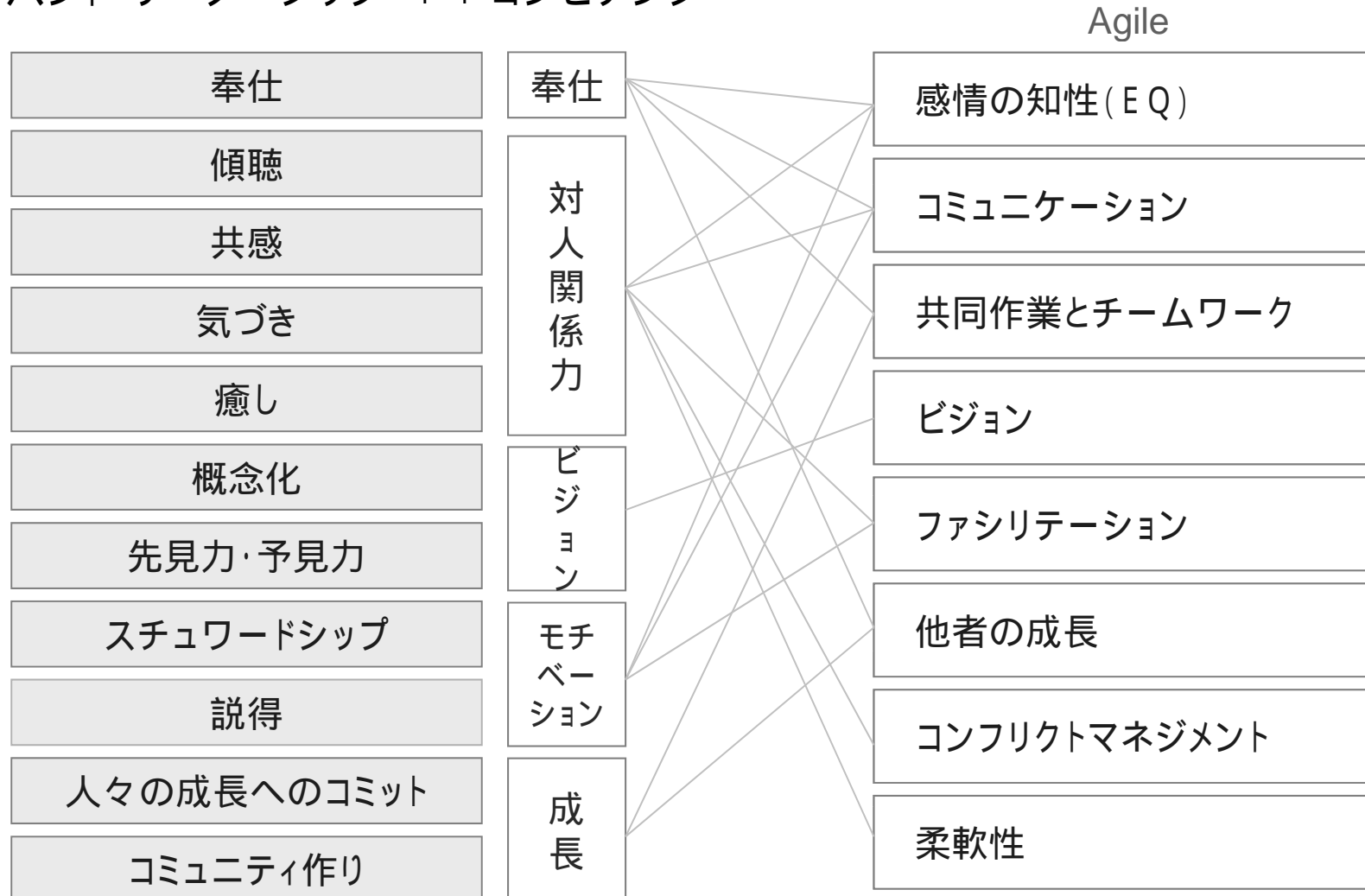
リーダーシップ・スタイルの基盤



サーバント・リーダーシップとは



サーバント・リーダーシップ 11 コンピテンシー



ご提供(支援)できるサービスメニュー



アジャイル手法導入支援サービス

概説・入門・中級コース 研修
導入過程におけるコーチング
アジャイル検定支援

コラボレーション型リーダー研修

サーバント・リーダーシップ

(株)戦略スタッフサービス



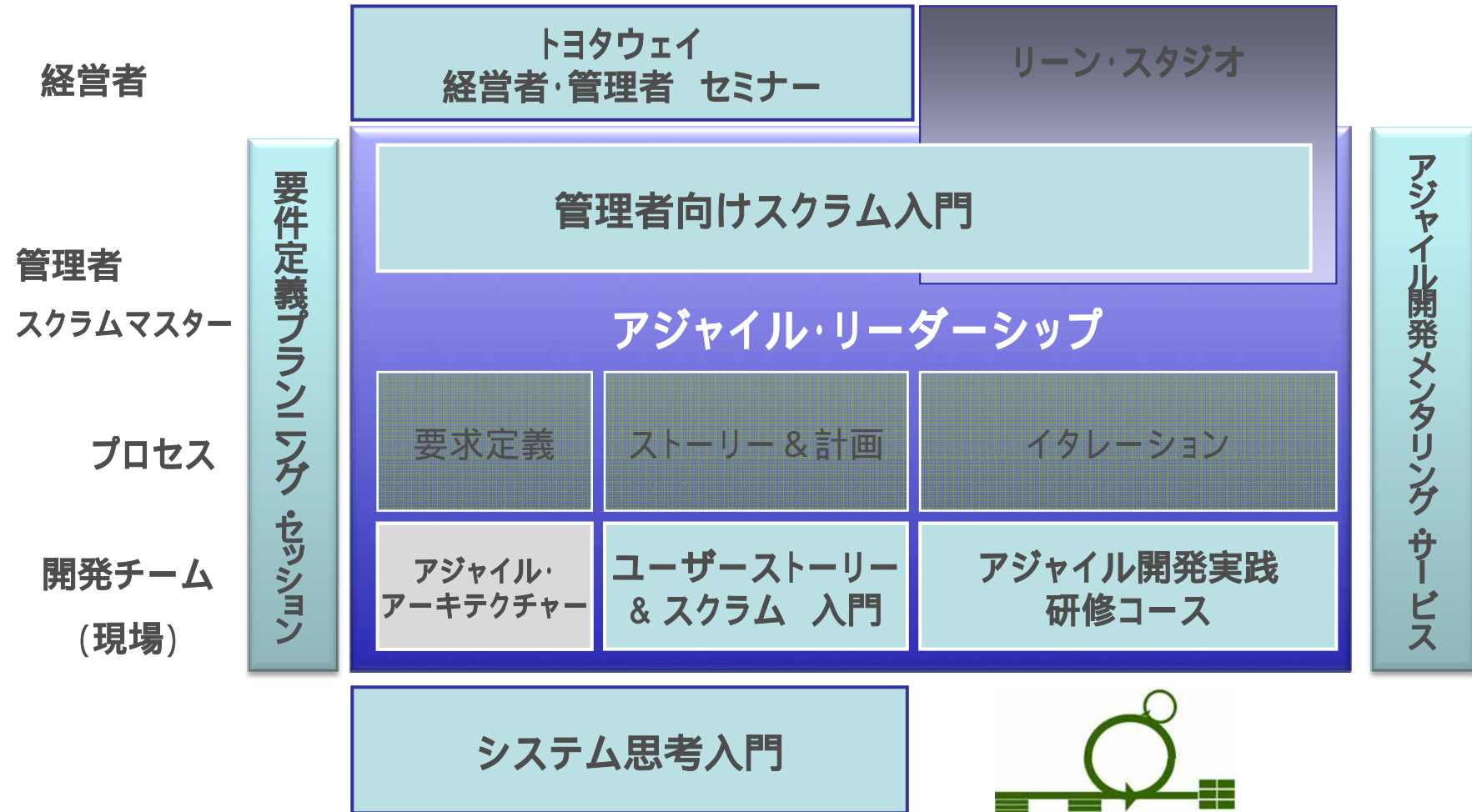
&

(株)アイネット

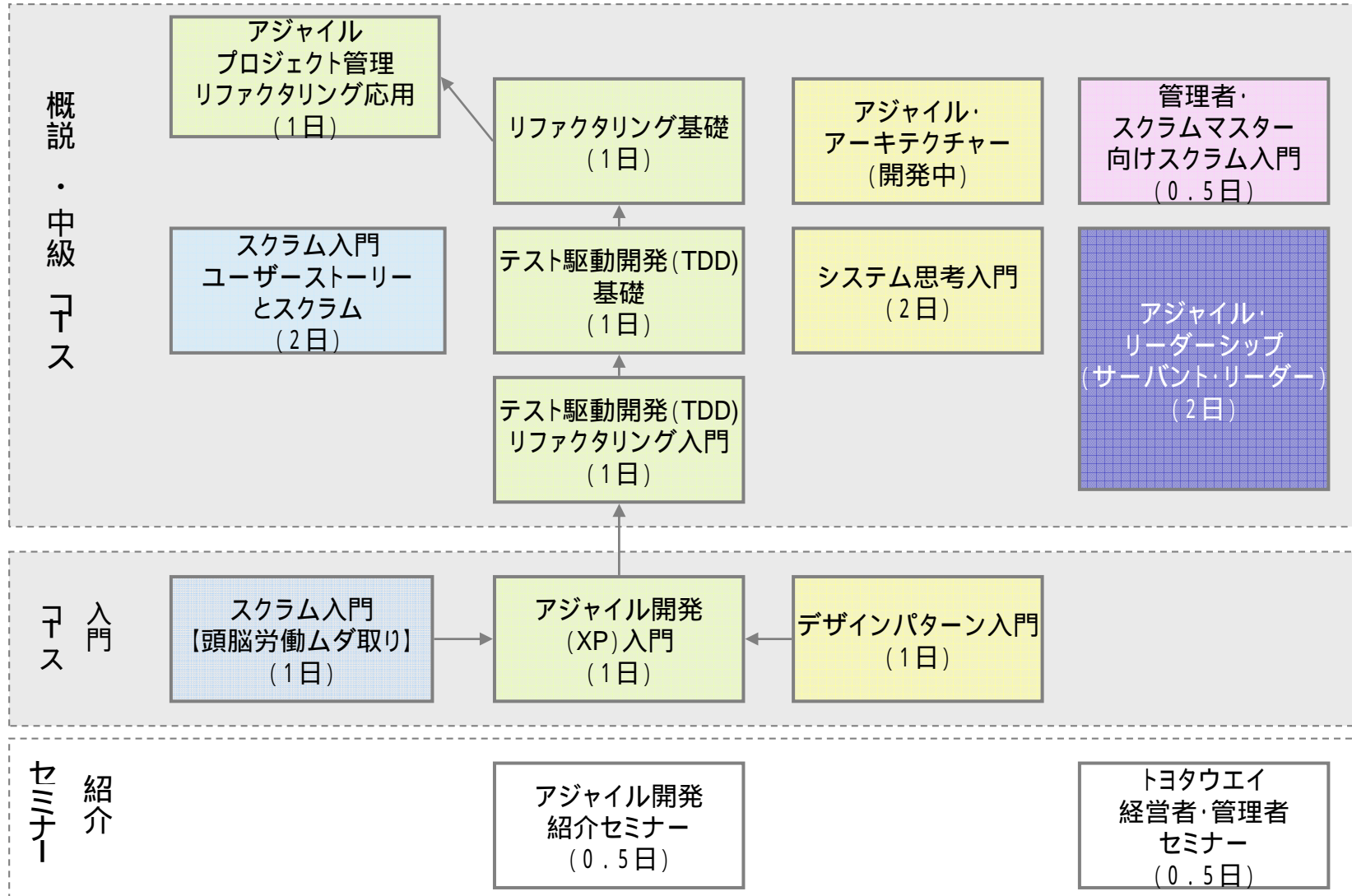
AINET Inc.
Advanced Information NETWORK



アジャイル開発手法導入支援サービス 概要



アジャイル開発研修コース体系



アジャイルのこれからに向けて・・・



アジャイルは、
見て、感じて、変化に俊敏に対応する
これからの社会環境に最適な
マネジメント手法であり、開発手法です。

米国では既にアジャイルへの潮流が・・・



このアジャイルを支える組織のあり方は
コラボレーションであり、
アジャイルプロジェクトを成功に導くファンダメンタルに
サーバント・リーダーシップがあります。